

雪に耐えて梅花麗し

令和元年がもうすぐ終わります。1年生は4月に入学して、9ヶ月が過ぎようとしています。その間、小学校とは異なる環境の変化に驚いたり、不安になったり、新しい事にチャレンジしたりと、様々な学びがあった事と思います。先輩の姿を見ながら学んだ事も多かったと思います。しっかりと自分の意見を表明したり、様々な活動に意欲的であったりと、1年生の姿はとても頼もしくなってきました。

中学校1年生はとても難しい時期です。小学校を卒業した3月にはまだまだ子ども扱いされていた事も、4月に中学校の制服を着た瞬間に、求められる事が多くなってしまい、劇的に環境も変わってしまいます。放課後の活動時間帯が広がったり、成績が5段階で示されたり、様々な意味で大人に近づいている3年生と一緒に生活したり、教科担任制になったり…。集団生活をするうえでのルールの必要性が小学校とは異なるレベルで求められる事もあります。そのような中でも、自分を見失うことなく生活するという事は大変な事ですよね。よく頑張ったと思います。本当にお疲れ様でした。ゆっくり休んでリフレッシュしてください。

2年生は、様々な活動を3年生から引き継いで、リーダーシップを発揮しつつあります。さらに成長してほしいと思います。しかし、前に進む事、進める時ばかりではありません。学習や部活動、自分の分担の活動等で、様々な壁にぶつかる時もあると思います。短い休みですが、心も体も休めて、じっくりと自分自身を見つめ直してみてください。

3年生にとっては、今までの冬休みのワクワク感とは、ちょっと異なるものになるかもしれませんね。体調に十分留意して、今、自分の出来る事、やらなければならない事をしっかりと積み上げて下さい。

「雪に耐えて 梅花麗し」という漢詩の一節があります。これは、江戸から明治にかけて時代を大きく変化させた人物の一人である西郷隆盛が縁者に送った漢詩の一節です。実際は、「…… 耐雪梅花麗 経霜楓葉丹 ……」と続きます。梅の花は、雪に耐えて麗しく咲き、楓の葉は、霜を経て真赤に紅葉するという意味です。3年生の皆さんにとっての意味として当てはめてみると、辛く苦しい時期を乗り越えてこそ、希望の春がやってくるという事になるでしょう。

この時期は、3年生の皆さんにとって決して楽しい日々ではないでしょう。合否の結果も大切ですが、進路に向き合う過程で何ができたか、何をどのように悩んで、解決しようとしたか、何を目標に頑張ったか、自分の頑張りに誇りを持てるか、自分から逃げずに向き合うことができたか等、進路実現の過程には、人として大きく成長していく根本的な問題も含まれています。

自分の進路選択を真剣に考え、目標に向かって取り組んでいるその姿こそが、価値があり、尊い事だと私は思います。自分の心と体と対話しながら、自分を見失うことなく、一歩ずつ進みましょう。

生徒の皆さん、4月から本当によく頑張りました。十分に休養しながら自己管理して、1月、また会いましょう。皆さんが冬休みを健康で楽しく、明るく生活できる事を心から願います。

保護者の皆さま、日頃からのご協力・ご支援に心より感謝申し上げます。よいお年をお迎えください。

新年、また長町中学校の素晴らしき生徒達と生活できることを楽しみにしております。